

設備供給

二

0811

陸軍

軍務局

總政本部

振興

第一部

佐鎮第

一五號

五十六

一軍艦豊橋安式止母連射砲

一令

買

甲七定家米重連射砲

三

門

貳

門

右本飛一塔載結了存此故以報告也

明治三十七年一月六日

訓

陸軍大臣 陸軍省 陸軍部 陸軍監

陸軍監印

海軍大臣 海軍省 海軍部 海軍監

海

軍

0812

核

軍令部



軍令部長  
次長

作戦班

海軍副官

部員

部員

艦隊司令長官

第一部長

部員

部員

副官



参事官

二十七年二月 二起案

二書  
決裁濟

大臣

次官

總務長官

軍務局長

局員

經理局長

主任局員

主任局員

主任局員

主任局員

主任局員

軍務表り及び色ニ青田分ニ於テ用福海マキシム

他ヲ免用ノ件

官房第六六五號

0813

奉 准 日 迄 及 奉 日 二 傳 告 ノ 又 キ シ ム 精 砲 ハ  
 只 在 七 番 末 年 中 一 七 九 年 迄 後 統 領 係 係 係  
 使 用 之 又 年 一 七 九 年 迄 係 係 係 係 係 係 係  
 三 年 末 迄 且 奉 邦 制 式 二 丁 三 弁 以 上 貯 貯 貯  
 亦 各 三 丁 貯 貯 貯 貯 貯 貯 貯 貯 貯 貯 貯 貯 貯  
 換 裝 ノ 必 要 少 認 事 係 係 係 係 係 係 係 係 係 係  
 音 利 伏 元 及 隅 田 用 砲 砲 砲 砲 砲 砲 砲 砲 砲 砲  
 充 用 換 裝 費 二 五 拾 中 式 如 仰 之 裁 也  
 三 十 七 年 十 二 月 廿 二 日

081A

陸軍部 長官 (印)

第一部長 (印)

部員 (印)

結算 (印)

一六 (印)

0815

副官

(印)

參事官

發付日  
一月七日

(印)

大臣

二十七年一月六日起案

總務長官

(印)

軍務局長

(印)

局員

(印)

(印)

(印)

收普第六一〇号各品  
指今案  
備付件

軍部第二七

三

海

軍

昭和二十七年一月七日

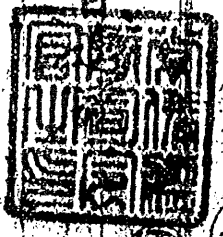
0816

艦政本部

三月廿七日

兵部備付相成皮義具申

三月廿六日



副官 永田

1855

第一

一無線電信通信兵器

志組

水艦無線電信社水備、義、船体及其附属工事ハ、  
既ニ設成致美、兵通信兵器、未、設置無之美也  
此際至急御備付相成皮此故具申奉也

明治三十三年三月廿六日 於佐世保

明石船長宮地 貞



常備艦隊司令長官東郷平八郎 殿

工場

武庫主管

部員

兵備検査官

海軍省

三月廿一日

官房第二七



佐世保三〇九

0817

至急

艦政本部長



第一部長



部員



副官



参事官

發行  
一月廿日

大臣



軍務局長



局員



總務長官

教育本部長



第一部長



電信指令案

長第六八〇号各番類外送信ノ

海軍



0818



陸世五少海軍院用原案ノ  
又母砲臺門ノ年四百黄忠  
三六認

三千七百一  
月三  
六

0819

現況

長官 供覽 濟

參謀長

佐官

司令長官 東郷

參謀長

佐官

副官 永田

工員

工員

艦政本部

第一

須第六〇〇號

三月廿七日

工部 三月廿五日

參謀長

海軍省

右部 三層額外供給相成度

一廿五軍式海軍銃用彈藥(內首發射擊用)

右一層射擊演習用發度(右室額)半數供給相成度

一廿五軍式十五十二梅速射砲用 電池

一廿五軍式密速射砲用 電池

右兩者電池兼用 砲架二部(其一式)動機(右)其力微弱

一十式方機有之係(右)除特(右)個數供給相成度

右三理由(右)額外供給相成度且(右)上申仕候也

明治三十三年三月廿五日

軍艦須磨艦長海軍大佐土屋

土屋

長官印

須磨艦長印

佐官 藤三〇五〇號

0820

兼備世傳司長官東御平八郎殿

0821

海軍

巻次

百十七

陸軍省志六教

陸軍省志六教

此年未進意須  
増か方至息  
六八〇由省  
海軍

海軍省

0822

紙 達 送 報 電

0823

局 着		局		發		名 氏 所 居 人 信 受	
取受傳 所	信受 年 時 分	信受 時 分 字	第 月 日	第 号	局	報	カ カ セ シ ム フ
送 達 指 定 指 又 ハ ソ ノ ト キ ハ シ カ ラ ス マ ス 又 ハ ソ ノ ト キ ハ シ カ ラ ス マ ス 又 ハ ソ ノ ト キ ハ シ カ ラ ス マ ス 				定 指		名 氏 所 居 人 信 受	
又 ハ ソ ノ ト キ ハ シ カ ラ ス マ ス 又 ハ ソ ノ ト キ ハ シ カ ラ ス マ ス 又 ハ ソ ノ ト キ ハ シ カ ラ ス マ ス 				事 記		注 他人へ宛たる電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ラ 符號シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻ス ベシ決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベシ ラモ 十一	

第一部長

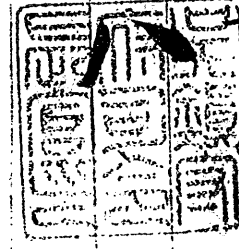
供覽

軍務局

艦政本部

第一節

軍艦の設計  
 艦政本部  
 第一節  
 船形の諸要素  
 船の各部の寸法  
 船の各部の材料  
 船の各部の製造方法  
 船の各部の検査方法  
 船の各部の修理方法  
 船の各部の廃棄方法



海軍

0824

軍務局

艦政本部

第一部

供覽

吳鎮第一九九號

局員



艦政本部第一九九號

仕屋

軍務局... 艦政本部... 吳鎮第一九九號... 艦政本部第一九九號... 艦政本部第一九九號...

艦政本部第一九九號... 艦政本部第一九九號... 艦政本部第一九九號...

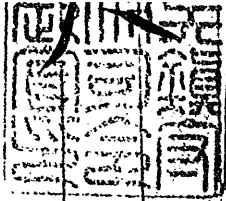
馬... 艦政本部第一九九號... 艦政本部第一九九號...



0826

0825

談



Handwritten Japanese text in vertical columns, including characters like '文', '下', '友', '多', '信', '多', '友', '下', '文'.

Handwritten Japanese text on the right side, including characters like '文', '下', '友', '多'.

0826

0825

Handwritten Japanese characters '三九'.

設  
備  
供  
給



					一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠
					一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠
					一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠
					一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠
					一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠
					一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠
					一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠
					一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠
					一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠	一 貫 珠

三〇年五月五日  
呉海軍工廠長

呉海軍工廠長

検査官

主任

三〇年五月二日

三〇年五月二日

呉海軍工廠

月廿七日進達

本國兵器増設相府度儀上甲

吉澤有海軍械庫大監馬場唯夫

艦政本部

一 高圧用氣釜 右能力計附

一 高圧用氣釜 右能力計附

一 高圧用氣釜 右能力計附

第一部長

装氣柱 能力計附屬

壹基 右

右本國防需計匠依り大町兼兼海防用奥形此屬使用相

所著三付之装氣調整其他操縦三附之存同備付自歴

者三使用之難之存新規御増設相府度此版上甲候也

昭和七年一月廿二日

最備國長心得牧村春三郎

呉鎮守府司令長官柴山矢八郎

呉鎮守府司令長官

呉工第 五二二號

0828

艦政部長  
印馬

第一部長

部員

三  
三  
三

副官

參事官

一廿  
廿

三月廿九日起案

大臣

次官

軍務局長

馬員

指示書

手稿  
第一号  
冬  
補用  
別

官房第二八三號

0829

海内一沙一石

陽曆一千九百一十七年一月廿七日

官廳第二八三號

訓令

電氣機械吸鑄除排試組補用りて海  
内方々修繕長上申認認許りて  
旨心也

昭和二年一月廿七日

大五

松尾

0830

一月廿



謀長

機長

參謀

副官

副官

副官

豐橋普第

三補

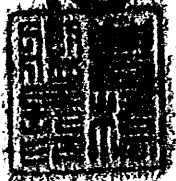
一月



第一部

明治三十七年八月

豊橋艦長海軍佐丹羽敬忠



聯合艦隊司令長官東郷元郎殿

海軍

0831

本  
存  
用  
知

0831

桂

本島發電機備付の者時より豫法品等  
 有る者用ひ合破損の場合に發電機使  
 用中止せしむ可き事廿三十五年艦中一〇式發  
 電機知見本島必要なりと認む

0832

陸政本部長

第四部長

第三部長

第一部長

部員

副官

參事官

花

三十七年一月廿七日起案

大臣

總務長官  
次官

軍務局長  
局員

指令案

吳水團普第一〇九那那佐美丸

官房第三三四號

0833

兵部増設ノ件認許ス  
明治三十七年一月七日

0834



三〇〇九

一〇〇

先任検査官

大船検査官

大朝

造兵部長

第一部長

製造本

官房第三三四

號

吳鎮第一〇八號

吳工第九二二號

吳鎮守府司令長官榮光八殿

一月廿日

本信所應辨以美先兵部増設相河度儀上甲  
主官有海軍樹岡少監馬場准史

一 艦氣柱 圧力計附屬  
但所屬船務部 壹基  
右 艦用氣柱 壹基  
右 艦用氣柱 壹基  
右 艦用氣柱 壹基  
右 艦用氣柱 壹基

右 艦用防備計區儀より大尉五基突海所用奥形此備之各敷設船氣  
備出艇七〇三付之出先之格之各奥形此備之各敷設船氣  
有之未三付新規御増設相河度儀上甲也  
明治十七年一月廿日 吳鎮守府司令長官榮光八殿

Various official seals and stamps, including circular and rectangular ones with Japanese characters.

0835

洪

軍務局

軍令部

艦政本部



有文印了

海軍大臣

持

大溪

分

第一部長

海軍

山田印行

0836

紙 達 送 報 電 0837

局	着	局	第	名氏所居人信受			
取受所	電	電	第	号	大		
分	分	分	号	局		大	
分	分	分	日	報			大
分	分	分	號	報			
定 指				名氏所居人信發			
<p>オオオオ                  アソソソ                  リソソソ                  ムハハハ                  ホガガガ                  セオオオ                  オソソソ                  ラソソソ                  ケソソソ                  ヒソソソ</p>				<p>注意                  他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ラ                  符號シテ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻ス                  之シテ取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカ</p>			
事 記				名氏所居人信發			
<p>オオオオ                  アソソソ                  リソソソ                  ムハハハ                  ホガガガ                  セオオオ                  オソソソ                  ラソソソ                  ケソソソ                  ヒソソソ</p>				<p>名氏所居人信發</p>			

軍務局

供覽

海軍本部

海軍

海軍

第一部

五ノ九

並出

海軍

海軍

海軍

Handwritten Japanese text in cursive style, arranged in vertical columns. The text appears to be a formal document or report, possibly related to military operations or administrative matters. It includes various characters and symbols, some of which are circled or highlighted. The text is densely packed and difficult to read without specialized knowledge of the cursive script.



海軍

0838

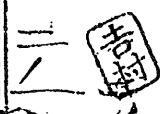
總政本部



第一部長



部員



副官



參事官

二月廿二日



壬子年二月一日起案

大臣

總務長官

次官



書記長



書記



奉命指示  
中丸之内  
内閣院  
佐藤  
方  
久  
之

0839

三月 現行 己 籍 己  
三月 廿 五 日 下

治 軍

0840

大臣

吳長官



0841

台中丸船長より安式十二サニ砲小銃口至内筒砲

三門四十七ミリ重連射砲彈藥包形内筒砲八門

測壓器四の兵分訓練用トニテ備付上申ア

測壓器外ハ必要ト認ム所測圧器アリタシテ本書付

日進運入



第一部長

出立の宛先を記入し  
あつた

電 報 送 達 紙

局 着		局 發			名 氏 所 居 人 信 受	
取受 振所信	信 取 分	時 分	日 號	報 局		
	11:25	11:25	11	第 二 二	友 子	友 子
子 ソ ハ ソ シ ヨ					指 定	
ラ	ク	△	△	ル	台	
ク	中	4	3	ハ	タ	
ス	ツ	イ	モ	ナ	イ	
ノ	キ	ケ	ヤ	4	ス	
子	四	〇	タ	イ	〇	
フ	エ	ウ	ノ	エ	ユ	
					4	
ヨ	サ	ソ	カ	ウ	ウ	
ウ	ヘ		タ	モ	テ	

名 氏 所 居 人 信 發

注 意

他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ  
符號シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻ス  
ベシ決テ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカ

クヨ  
長  
江  
の  
事

0842



# 電 報 送 達 紙

局 着		局 發			名 氏 所 居 人 信 受	
取受 所信	信受 午時 分	付受 午時 分	第	報	局	號
			月			
			日			
<p style="font-size: 2em; font-family: monospace;">                     ザンゴカント                      ツニハアエ                      スヨニヒリテ                      ホニツソビ                      ヲヨク                      ヲアツビ                      ヲアリトミ                      ツクエト                      ヲホ                      ヲホ                 </p>				定 指		
				事 記		
				注 意	名 氏 所 居 人 信 受	
				他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此山ヲ 符箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻ス ベシ決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスニカ ラズ		

0843



全 部	四 七 老	五 七 密	十 二 斤	十 二 把	十 五 把	母 祀
23	58	6	56	11	7	考 道
	12		20		28	内 角 祀
46	140	12	112	6	18	内 角 祀 檀 及 祀 塔
母 祀 一 門 二 門		淨 法 色 形		山 鏡 石 名		内 角 祀 全 部
三 百 年 門				方 門		十 八 門

0844

軍務局

函

一

の

辨

四三

供覽



艦政本部

印

第一部長

海軍大臣男爵山本權兵衛殿

別紙  
 將校兵器出納規程第五條ニ基キ  
 致候付此段報告候也  
 明治三十七年二月六日  
 機第一号ヲ以テ山口九  
 監督  
 被認候  
 給

海軍大臣男爵山本權兵衛殿

長官印

0845

住吉  
秋山

陸軍第一〇九  
山根第一号  
工  
倉田  
記入  
0846  
44

山根第一号  
本船彈藥庫ニ該區計備付相成度我上申

今般本船艦隊附屬運送船ト定メテ保云重口  
拾四密速射砲三門備付相成度及附屬彈藥  
庫設置致候該庫ニ石炭庫中ニ  
リ庫内湿度分リ合存スルエト多ク湿度モ又夏  
化多ク就テ右候湿度計備付相成度以候上  
申候也

明治三十七年二月三日

山根九監督將校秋山末吉  
聯合艦隊司令長官末吉 郎殿

海軍

供覽

軍務局

陸軍省第三三三號ノ二

馬員

印

印

三子

報告

別紙之通

聯隊機密

号外ヲ以テ

聯合

艦隊司令長官

具申上

係ル件ニ必要之義

被認候ニ付兵器出納規程第五條ニ基キ

供合致置候ニ付此段報告候也

明治三十七年二月七日

陸軍省府員長官殿

陸軍省府員長官殿

長官印

0847

關文齋

第一部長

外

列成上甲、件、既、者、速、答、部、可、現、品、臺、願、請、委、名、  
至、急、所、認、許、扣、本、根、中、所、計、市、物、在、以、般、及、而、保、  
轉、戶

明治七年五月九日

總務部合記部部長

府知事 系者 功 復 次

0848

艦政本部

第一部長

時隊機密号外

特別運送船用上等兵器類所及附相成度

義存具申

特別運送船用上等左記兵器類等艦隊一御渡附相成度此既具申者也

明治三十七年一月廿八日 松佐世保

聯合艦隊司令長官東郷平八郎

海軍大臣青島山本權兵衛殿

口印 若

小笠原電纜

数量

一五〇米突

0849

一ノ三



部 附

0849

本件は、昭和十一年及十二年の  
 府県別支那通関手続の概況を  
 示すものである。附録として、  
 支那通関手続の概況を示す  
 府県別支那通関手続の概況  
 を示すものである。

行政部郵政課印

支那通関手続の概況



0850



海軍用電池

護換板

大和爆発薬探海鋪用薬罐

導火薬罐

海中爆発信管

隔縁線小

五  
個

五  
個

二  
個

二  
個

四  
個

二  
個  
未突

0851

供覽

軍務局

艦隊本部

會計課

吳鎮第三八〇號

井出

御

局

御

壹個

第一號  
一、軍形水雷  
二、大、一、車、終、嚴、島、由、形、水、雷、祭、射、際、矢、跡、修  
三、幼、也、程、某、五、條、下、依、立、付、致、修、奈、以、中  
四、底、也、也

明治三十七年二月六日

吳鎮司令部 長官 柴山 奉

梅下五里 守山 亦 相三 物 殿

軍務局 會計課 印

海軍

0852

友部

高田藩 合衆記 八巻

無印 7

軍務局

局員

印

主管別判官 兵部局 記入 冊

供覽

高田藩 印

兵部 印

高田藩 印

第一部

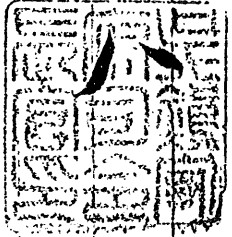
高田藩 第三七九號

井出 印

印

印

高田藩 兵部 局員 印  
 高田藩 第三七九號  
 井出 印  
 印  
 主管別判官 兵部局 記入 冊  
 第一節  
 高田藩 兵部 局員 印  
 高田藩 第三七九號  
 井出 印  
 印  
 主管別判官 兵部局 記入 冊



0853

軍務局

供覽

継文書

第一部長

三六八

別紙之諸兵器ハ平戸及豆酸無線電信  
所用ニテ必要ニ付兵器出納規程第五  
條ニ依リ交附候条此段報告候也

明治三十七年二月十日

海軍省軍務局長 長瀬武敏

海軍大臣 野村浩将

海

軍

0854

豆酸無線電信所

砲鏡之部

品

名

数

量

三十五年式海軍鏡

五

挺

合平

劍

五

柄

合背負

葦

五

柄

合前胸

亂

五

柄

合後胸

亂

五

柄

合帶

葦

五

柄

合刺

差

五

柄

合油

入

五

柄

合回螺

音

五

柄

合洗

矢

五

柄

0855

稻妻形田螺	小 木 槌	全 空 色	全 箕 彈 菓	全 操 練 用 彈 栗 色	全 彈 倉 糸 糸	全 殼 蹴	全 殼 拔	全 全 糸 糸	全 打 針	全 補 用 品 囊	全 鏡 口 蓋	全 藥 室 掃 除 音
吉	吉	九〇〇	吉五〇〇	五	五	五	五	五	五	五	五	五
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何

0856

全  
穂  
先  
彦  
何

一

頁

0857

Vertical grid table with 13 columns. The table is mostly empty, with only the number "0858" visible in the bottom right corner of the grid area. There are some faint markings on the right edge of the grid, including a small triangle at the top and a vertical line of text on the right side, which appears to be the characters "洋書部" (Yoshu-bu) written vertically.

0858



平戸無線電信所

砲銃之部

品名		数量	
三十五年式海軍銃	五挺		
平	劍五		
背負	革五		
前	亂志		
後	亂		
帶	革五		
劍	差五		
油	入五		
圓	管五		
洗	矢五		

0859

稻妻取回標	小末	全空	全 <small>莫</small> 彈	全 <small>權</small> 練用彈藥包	全彈倉索	全敵	全敵	全合	全打	全補用品	全鏡	全藥室掃除器
舌	梶	色	藥	包	索	蹴	拔	索	針	囊	蓋	器
志	吉	九〇〇	志五〇〇	卦五	五	五	五	五	五	五	五	五
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何	何

并  
算

0860

全  
徳  
先  
考  
冊

0861

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

洋  
宣

3390

0862

新式 光信號 燈 白函 共	緩 火 索	號 火 用 雷 管	號 火 把 柄	拾 個 入 格 納 筐	長 號 火 管	全 尾 杆	拾 個 入 格 納 筐	信 號 火 箭	品 名 數 量
斗 個	參 把 個	參 個	志 個	斗 個	斗 個	四 五 個	參 個	斗 個	參 個

豆  
酸  
無  
線  
電  
信  
所  
水  
雷  
部

0863

今

要

具

筐

志  
仞

今  
赤函  
英

志  
仞

燃料  
罐  
格納  
筐

志  
仞

赤  
光  
燃料  
五  
志  
律

0864

平戸無線電信所

水雷部

品名		数量	
信	辨火箭	参	何
拾何入	格	辨	筐
全	鹿	杆	参
何		何	
火	管	四	五
何		何	
長	辨	火	斗
拾何入	格	辨	筐
全	格	辨	筐
何		何	
辨	火	把	柄
何		何	
辨	火	用	雷
何		何	
後	火	索	参
何		何	
新	發	光	辨
何		何	
燈	白	函	共
斗			
何			

0865

金

赤函炭

同

粟

具

竹筥

同

燃

料躑格納筥

同

赤光燃料

五炭律

0866



艦政本部

海軍

第一部

供覧

海軍

軍務局

呉鎮守府

Handwritten cursive text (kuzushiji) in vertical columns, likely a report or order. Includes a large square seal at the bottom center.

海軍

0867

英界

振作

舞鶴機務一七號六

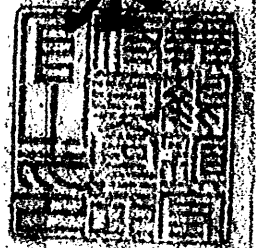
昨夜電報云比敵艦尾砲据付其他造兵造船  
 工事、何分、訓令、迄、其、使、用、件、御、指、令、有  
 之、候、處、比、敵、ノ、儀、ハ、本、艦、附、属、兵、器、ニ、付、キ、戰、時  
 編、制、實、施、ト、共、ニ、着、手、致、サ、セ、又、浦、入、第、一、第、二、急  
 造、砲、臺、ノ、儀、モ、先、達、テ、土、工、着、手、ノ、御、指、令、ト、共  
 關、聯、ノ、事、業、故、計、畫、通、リ、四、十、七、密、米、砲、据  
 付、方、着、手、セ、シ、共、ニ、今、於、テ、工、セ、シ、次、第、ニ、テ  
 只、工、事、費、用、手、順、為、メ、御、認、許、ヲ、仰、キ、候、次第  
 二、付、キ、右、二、條、ノ、儀、ハ、特、別、御、詮、議、ヲ、以、テ、此、際  
 至、急、御、認、許、方、御、取、計、相、成、度、此、段、及、御  
 依、賴、候、也

明治三十七年二月十一日

0868

舞鶴鎮守府司令長官日高壯之丞

海軍次官齋藤實殿



0869